

キャラクター名  
鈴白霧花

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ ハヌマーン		ワークス	UGN	エージェントB	カヴァー	司書
	オプション		年齢	22歳		性別	女
覚醒	無知		衝動	恐怖		初期侵食率	32%
出自	父親(母親)の不在		経験	被害者		邂逅	保護者：桐谷雄吾

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1	0	0			1	行動値	14
感覚	4	1	0	1		6	(非装備時)	14
精神	2	0	0			2	戦闘移動	19
社会	1	0	0			1	全力移動	38

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲： 0    合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
暁のぞみ	P 庇護	N 不安		
経験：母親とその恋人	P 執着	N 隔意		
出自：父親	P 憧憬	N 憎悪		
邂逅：桐谷雄吾	P 憧憬	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
フィジカルハンズ:エンジェルハイロウ	2	3	Xジェン/リアクション	-	-	シンドローム	-	
効果： C値-1 シナリオにLV回								
光芒の疾走	3	1	マイナー	-	自身	-	-	
効果： 戦闘移動を行う 1シーンにLV回まで								
光の手	1	2	Xジェン	-	-	-	-	
効果： 【感覚】で判定を行える								
電光石火	3	3	Xジェン/リアクション	-	-	-	-	
効果： 組み合わせた判定のダイスを+[LV+1] メインプロセス終了時にHP1D失う								
サイレンの魔女	5	5	Xジェン	視界	シーン(選択)	対決	-	
効果： 攻撃力:[LV×3] コンソールに組み合わせ不可								
天使の外套	1	-	Xジェン	至近	自身	自動成功	-	
効果： 任意の外見を持つことができる								
七色の声	1	-	Xジェン	至近	自身	自動成功	-	
効果： 任意の声を持つことができる								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

名前：鈴白霧花(すずしろ きりか)  
 一人称/わたし  
 二人称/あなた  
 どこにでもいるお隣さん、もとい女性。平和に平和に暮らしたい。あんまり目立ちたくないの、UGNとして動く時はイージーエフェクト(天使の外套、七色の声)で誰でもない別人になって動いてる。別人になれるのは本能的にも開放された気持ちになって気分が良い。自分、というものがあまり好きではない。卑屈でネガティブで人付き合いも長続きしない性格だが、暁のぞみとは気が合い、同居までするようになった。彼女に精神的に助けられるところも多々あり、助かっているし楽しい生活を送っていた。どうしたって見つけたいし助けたい。

▼  
 シングルマザーの家庭で育った。生育環境は良くはなく、ネグレクト気味だった。奔放な母は恋人をとっかえひっかえしながら気ままに暮らしている様に見えた。いつも隅っこで小さくなって過ごしていた。母親やその恋人の機嫌の良い時は良いものを買って与えられ、そうでない時は暴力を振るわれる時もあった。ある時、極限状態で暴力を振るわれ、「ああ自分は死ぬんだ」と思った。怖かった。顔も見たこともない父親に縋っても救われない事はこれまでの生活でわかっていた。逃げたかった。ただこの生活から逃げたかった。暴力にさらされ死にかけて時に、その衝動から能力に目覚め、全てを破壊し尽くした。気が付いたら瓦礫の山だった。それが怖くて怖くて、逃げたくて逃げたくて逃げたくて、気が付いたら別人になっていた(イージーエフェクト)。そうしてしばらくして行き倒れそうになっていたところをUGNに見つけられた。